

拠出金名： 環境問題拠出金

(持続可能な開発委員会拠出金－「持続可能な開発に関する世界首脳会議」開催支援基金)

国際機関等名	(注) (略称)					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	外務省総合外交政策局国際社会協力部地球環境課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ－ト		
平成14年度	91,497	750		1\$ = 122円	(2002年)	100
平成13年度	110,060	1,029		1\$ = 107円	(2001年)	100
平成12年度	57,750	550		1\$ = 105円	(2000年)	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		※各支援事業毎に我が国の 拠出率、各国の拠出状況 は異なる。	
1位						
2位						
3位						
4位						
5位						
当該基金に対する我が国としての評価						
WSSDは、1992年にリオ・デ・ジャネイロで開催された国連環境開発会議(いわゆる「地球サミット」)で採択されたアジェンダ21の実施状況について点検し、新たな国際的取組等を協議するために2002年8～9月に南アフリカ(ヨハネスブルグ)において開催された世界首脳会議。本件拠出金は、WSSD及びそれに向けた一連の地域レベル及び国連本部における準備会合の開催経費及び途上国の参加支援を目的とするものであり、関係国・国際機関等を我が国が支援することで、地球規模の環境と開発の問題に対する我が国の積極的姿勢を国際社会に強く示す上で極めて効果的であった。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
WSSD及び一連の準備会合については、我が国は、会議主催国たる南アフリカ及びインドネシアの政府に対し合理化・効率化を求めた。一方、テーマである「持続可能な開発」は国際社会の大きな関心事でもあり、結果的に191ヶ国、104名の首脳が参加し、延べ2万人を超える参加があり、上記のような成果を納めることができたことは有意義。						
邦人職員数 うち幹部以上	本基金は会議開催経費及び途 上国の参加支援が目的	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	本件は会議開催経費及び途上国の 参加支援が目的			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
				本件会議の運営に携わるビューロー(議長、副議長役)には、赤坂サンパウロ総領事(前国連代表部大使)が就任していた。		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
本件会議は終了し、国連は毎年1回持続可能な開発委員会(CSD)を開催して、そのフォローアップを行うこととなったため、本2003年、このCSDの組織運営のためのアジアの代表(1名)に我が国が立候補している。						

(注) 本件拠出金は、一特定国際機関に対し全額拠出するものではなく、各種国際機関等が実施するWSSD関連事業の開催支援を目的として、複数の国際機関等に対し拠出している。このため、各事業毎に拠出率は異なる。